



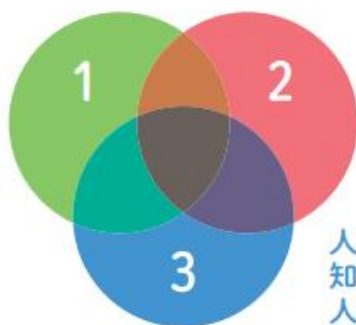
大庭小学校だより

文責:佐藤



先日は、**人権教育**の授業公開日にご参加ありがとうございました。一人一人を大切にする人権教育は、誰もが大切にされることを目指す本校教育の基盤です。

子どもたち
一人一人の
学びの保障



人権が
尊重される
環境づくり

人権に関する
知的理解と
人権感覚の育成

さて、島根県が目指す人権教育は、

**まずは大人が子どもの人権
を大切にする**ことを大切にしてい
ます。

そのうえで、左の3つの視点から実践
していきます。

①子どもたち一人一人の学びの保障・・・安心して学校生活を送ることができること

大人の目から見て「困った子」は、「困っている子」という視点です。学習がうまく進まない、学習に向かうやる気が出ない、学習に集中できないという「困っている子」の姿は、大人の目からは「困った子」と捉えられがちです。そうした「困っている子」にも、いや「困っている子」にこそ大人の温かいまなざしがが必要です。日々、誰もが安心して学校生活を送り、自分の力を最大限に発揮できることを目指しています。

学びを支える基盤ともいうべきこの取組の一つに**教育相談ウィーク**があります。2学期は11月13～15日に実施します。教職員と児童が1on1でお話をします。日頃、困っていることや自分の目標に向けての取組状況などを話し、児童の安心を築きます。



教育相談ウィーク。写真は別場面ですがこんなイメージです

②人権が尊重される環境づくり・・・学校の物的・人的環境が人権を尊重していること

物的環境としては、例えば、**人権標語**です。学校に来校されたお客様によく校門に飾られている人権標語に感心したというお声がけをいただきます。ご家族で人権について考える機会となればと思います。人的環境は、上のお通り大人がお手本です。教職員をはじめ、保護者、地域の方がお互いや児童を大切にする事で、児童は自分も友達も大切にすることができます。

学校は何より、児童を歓待する居場所であるべきです。毎朝、校門で「おはよう！いらっしやい！」と児童に声をかけると、最初は『いらっしやい！ってお店みたい』と言われたこともあります。『学校によく来たね、待っていたよ』という歓待の気持ちを込めての「いらっしやい！」なのです。



3年分の人権標語を掲示しています。左下は人権の花です。

③人権に関する知的理解と人権感覚の育成・・・児童も大人も人権について学び、人権感覚を磨くこと

私たちは誰もが、一面ではマジョリティー（多数者）で一面ではマイノリティー（少数者）です。世の中はマジョリティーが暮らしやすいようになっており、少数者の人権に気づかないことが往々としてあります。そこで、さまざまな人権課題※についての学習を通して知的理解と同時に人権感覚を磨いていくことに取り組みます。公開した授業は、③の学習でした。性に関する指導も広く人権を考える学習と言えます。



1年 からだっだいじ



3年 友達のいいところをみつけよう



5年 LGBTQから考える



2年 わたしのたんじょう

4年 育ちゆくからだと私

6年 今に残る室町文化

ののほな 道徳&自立活動



※ 女性 子ども 高齢者 障がいのある人 同和問題 外国人 患者及び感染者等 犯罪被害者とその家族 刑を終えて出所した人等 性的指向、性自認等（LGBT等） インターネットによる人権侵害 などなどが人権課題とされています。

11月28日には児童が中心となり人権集会が行われます。12月4日から10日までの人権週間まで、特に人権に関して学び、誰をも大切に作る期間としていきたいと思っています。そういう意味で授業公開や人権標語などの取組が保護者、地域の皆様にとっても一人一人の人権を考えるきっかけとなれば幸いです。

一人一人の人権を大切にするためには、たくさんのマンパワーが必要です。今学期もミシンボランティア、遠足・校外学習の補助、野菜作り・米作りなどたくさんのご支援をいただいています。ありがとうございます。1学期にお願いした学習講師、学習支援の大庭小学校サポーターについては、これから1年生ひらがな・カタカナ、2年生かけ算九九をはじめ多くの人に関わっていただき、確実に習得しておきたい学習についてお声がけをする予定です。上の①「困っている子」をはじめすべての児童のためご協力の輪を広げていただきたく思っています。 サポーター登録は右のQRコードから→→



ここ2年、10月の学校だよりは「働き方改革」について取り上げてきました。教員不足はメディアで報じられ久しいのですが、大庭小学校も児童数等に応じた教職員が不足している現状です。学校運営協議会長からも遅くまで明かりがついていることをご心配いただきました。働き方改革として種々の取組を行いましたが、勤務時間はなかなか短くはならないのが現状です。校長としては、当然、労働者の権利はじめ職員の人権を守る立場にあり、心苦しく思っています。これからも、児童のために大切なことは何かを見きわめ、効果の高いものに力を注ぎ、効果の少ないと判断したものは通例にとらわれず大胆にやめたり縮小したりしていきます。繰り返し述べてきましたが、教職員が充実した働き方をしてこそ、児童の充実した教育を行うことができます。みなさまのご理解とご協力をお願いします。こうした意味でもサポーターのご助力はたいへんありがたいものです。

★次回授業公開は11月1日音楽会です。お楽しみになさってください。午前中の児童のみの音楽会冒頭でドローン撮影したクリアファイルの贈呈式を行います。こちらもお楽しみに。